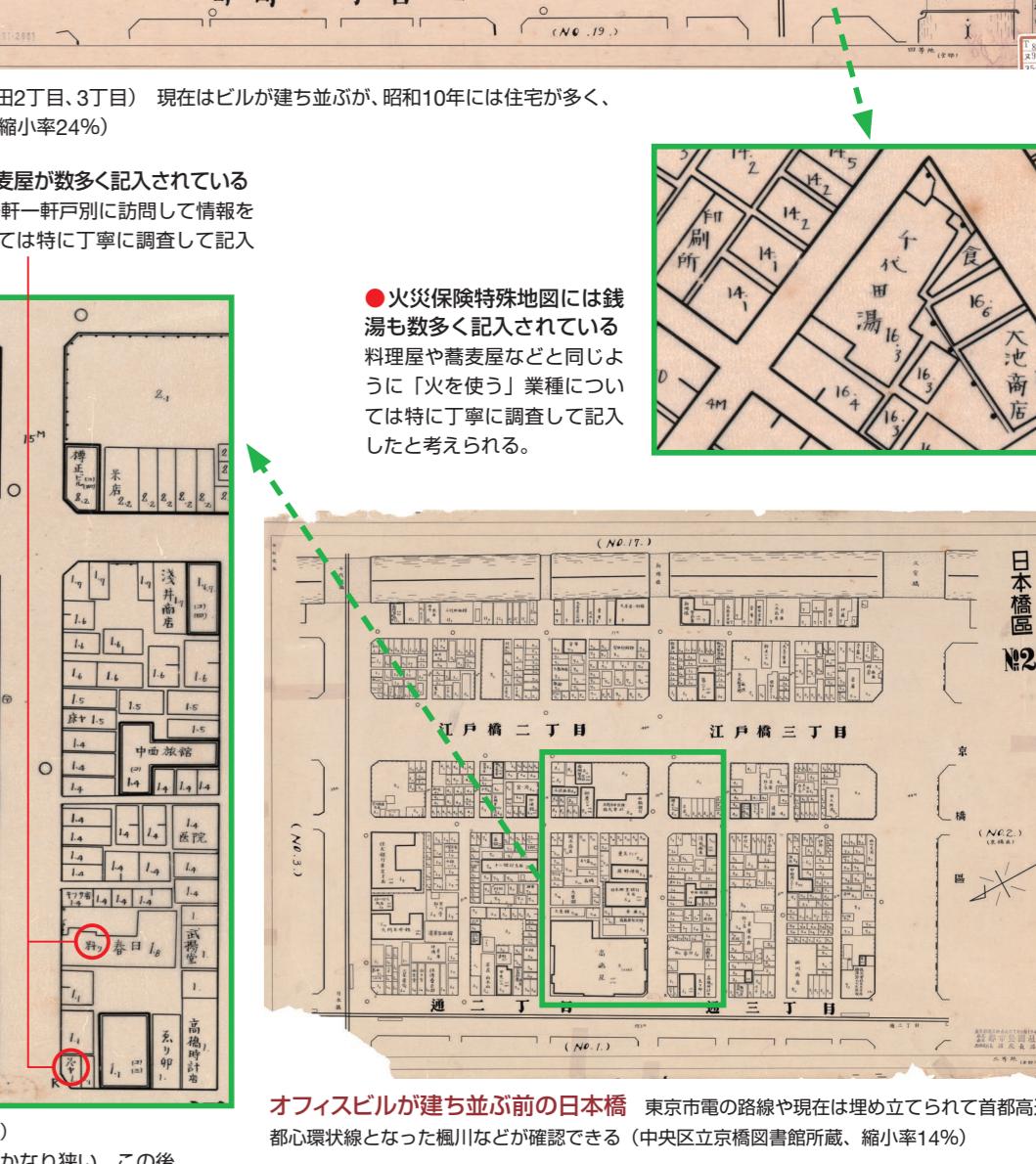
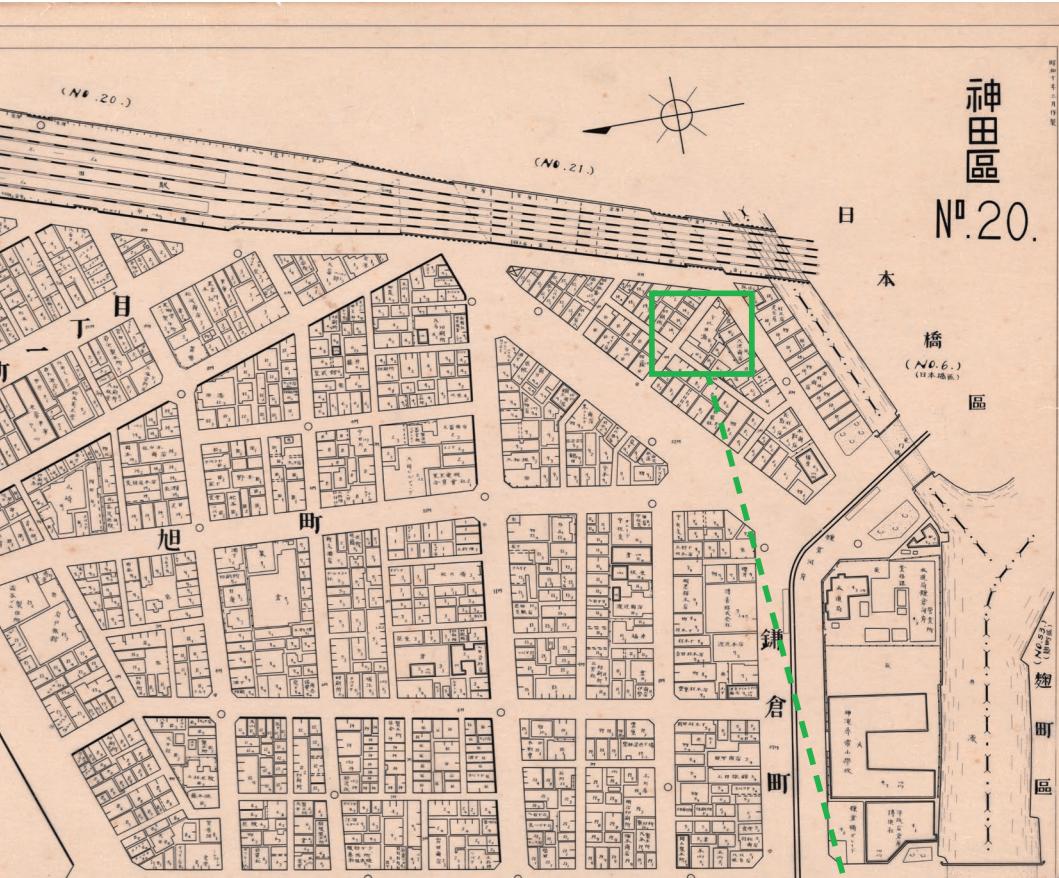
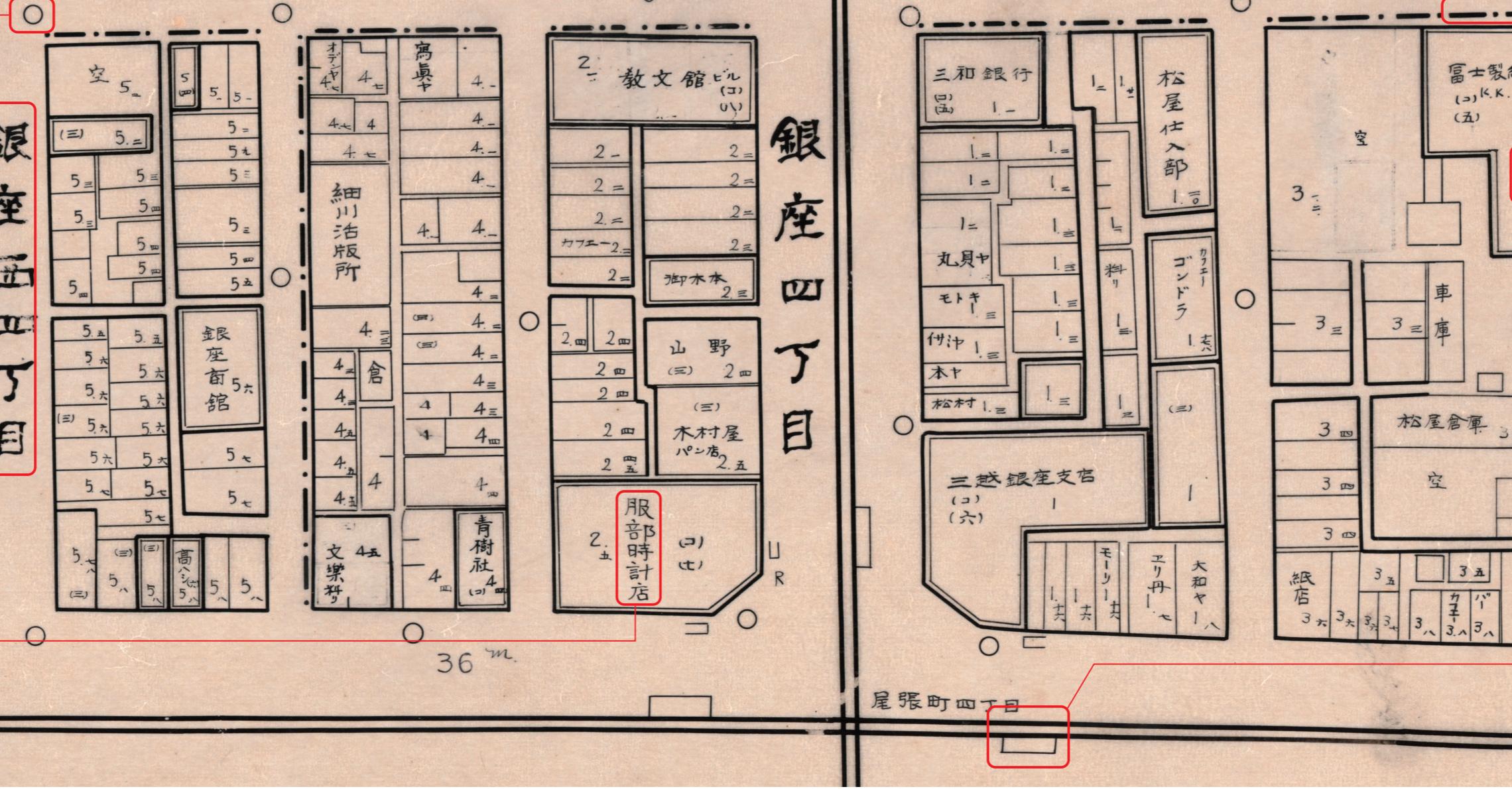
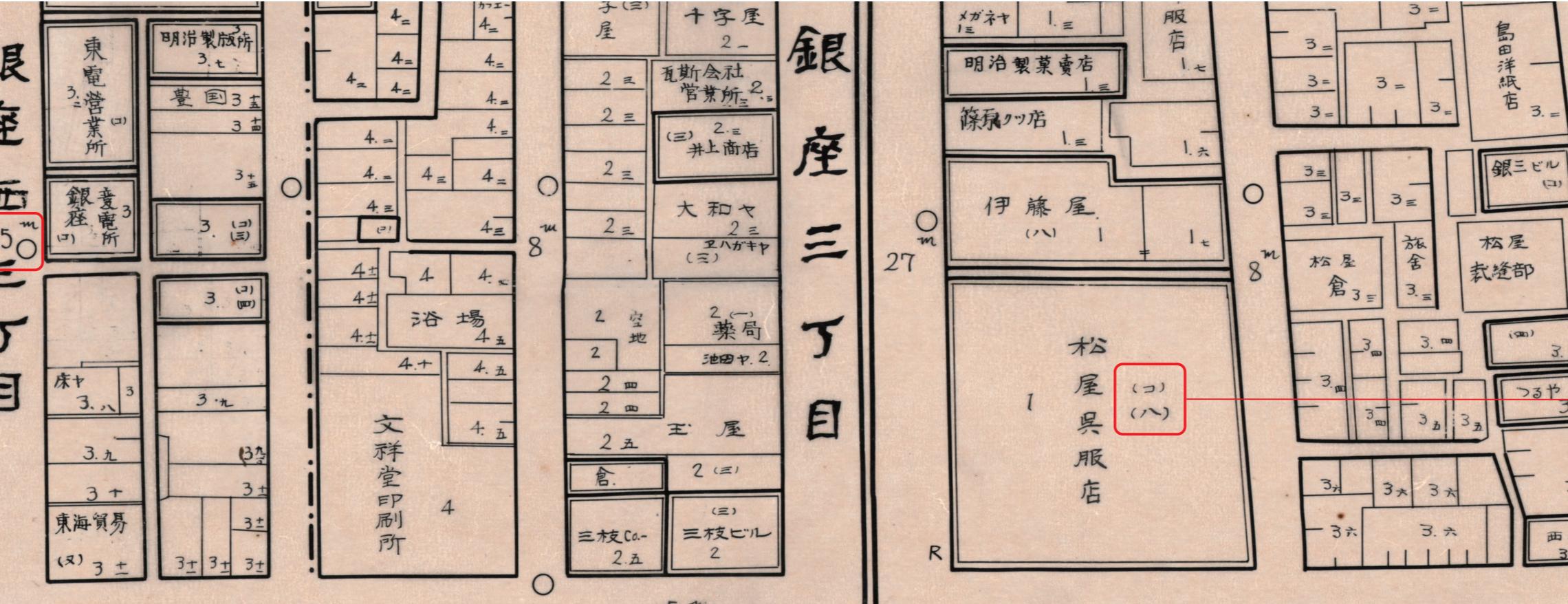


●道路幅員
消火栓の位置と並び、火災保険特殊地図で最も重要な情報の一つである。



●建物の構造と階高を示す情報
「コ」はコンクリート造、「ハ」は8階建であることを示す。建物概形の大線は耐火構造物、細線は木造であることを示す。
その他に煉瓦造である「レ」、ラス張りである「ラ」、土蔵造である「土」、平屋建を示す「ヒ」などの記号がある。
耐火構造物であるか否かも火災保険会社には重要な情報である。

●道路幅員
消火栓の位置と並び、火災保険特殊地図で最も重要な情報の一つである。

●消火栓
道路幅員と並び、火災保険特殊地図で最も重要な情報の一つである。

●旧町名
火災保険特殊地図が作製された当時の旧町名が示されている。

●橋の構造を示す情報
板塀を示す記号。そのほかに、不燃質塀、トンネル、コンクリート橋、木橋、土橋の区別がある。さらに、線路の土手もコンクリートとそれ以外の土手の区別がある。

●建物名称
火災保険特殊地図の作製の際には、一軒一軒戸別に訪問して建物名称や居住者の情報を収集した。火災保険特殊地図の真骨頂であろう。服部時計店は和光本店となった今でも銀座のシンボルである。

●地番
漢数字が枝番を示す。地番が記入されているので、これらの大縮尺の地図は「地番図」と呼ばれる。

●町丁目界
地形などおなじように市区界、町村界も記入されている。

●火災保険特殊地図には料理屋や菓子屋が数多く記入されている
火災保険特殊地図の作製の際には、一軒一軒戸別に訪問して情報を収集したが、「火を使う」業種については特に丁寧に調査して記入したと考えられる。

●火災保険特殊地図には銭湯も数多く記入されている
料理屋や菓子屋など同じように「火を使う」業種については特に丁寧に調査して記入したと考えられる。

●市電と停留所
火災保険特殊地図には網の目のように張り巡らされた東京市電の路線と停留所のほか各種交通機関も詳細に記入されている。

●高島屋付近一部拡大
(縮小率45%)

現在のJR神田駅の南西側 (内神田2丁目、3丁目) 現在はビルが建ち並ぶが、昭和10年には住宅が多く、木造長屋 (一棟四戸建) もみられた (縮小率24%)

オフィスビルが建ち並ぶ前の日本橋 東京市電の路線や現在は埋め立てられて首都高速都心環状線となった楓川などが確認できる (中央区立京橋図書館所蔵、縮小率14%)